

2022年9月21日(水)第三水曜祈祷会

エゼキエル書10:1~22

「イスラエルの神の栄光」

【ここまでのあらすじ】 *9章は神の激しい憤りが、エルサレムに望む様子が描かれる。

- ①エゼキエルは幻の内に、ユダの民が行っている3つの大きな()を見た。
- ②エルサレムを罰するための六人の男と、しるしをつける()をまとった者が現れる。
- ③神は厳しい裁きを下される中で、しるしをつけられた者たちには()を過ぎ越された。

【観察と黙想】

1. エルサレムへの審判(10章1~8節) *エゼキエルはケルビムの上に王座に似たものを見た

- ①主は亜麻布の衣をまとった者に、何を命じられましたか(2節)。
→
- ②主の栄光が神殿の敷居に移動すると、そこはどうなりましたか。
→
- ③エルサレムは何によって滅ぼされますか。
→

2. ケルビムと四つの輪(10章9~14節)

- ①1章15、16節の「四つの顔の生き物」は何であったことがわかりますか(9節、15節、20節)。
→
- ②ケルビムと四つの輪はどのように動いていますか。
→
- ③四つの輪のそれぞれの顔はなんですか。
→

3. イスラエルの神の栄光(10章15~22節)

- ①ケルビムと四つの輪を動かしているのは何ですか。
→
- ②「ケルビムは翼を広げて…地上から上って行った。」は、何を意味していますか。
→
- ③「主の宮の東の門で止まった」のは、何を表していますか。
→

【適用と分かち合い】

- ①亜麻布の衣をまとった者が、救い主のひな型と言われるのはなぜですか。
- ②神の裁きは何のために行われるのですか。
- ③教会に神の栄光が現わされるとはどういうことですか。